

小浅間山

M・T

期 日：9月14日（木） 晴れ

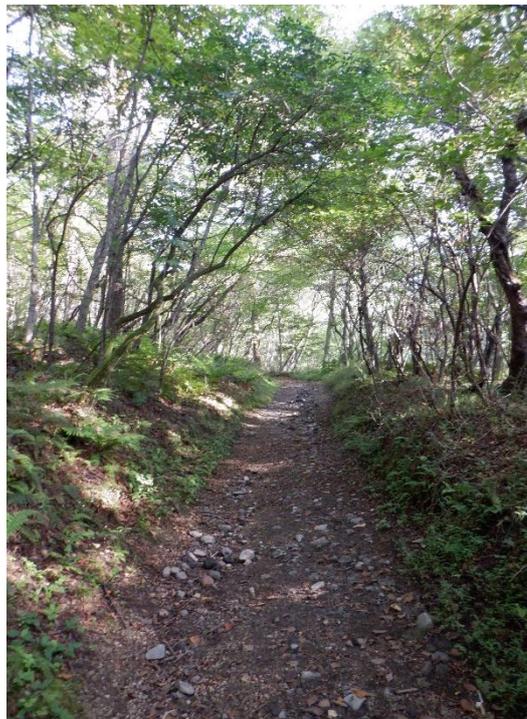
コース：峰の茶屋登山口6：57→西小浅間山分岐8：00→三角点8：12→小浅間山8：15
～30→西小浅間山分岐8：42→西小浅間山8：52→三角点9：06→西小浅間山9：
14→峰の茶屋登山口9：53→信濃路自然歩道入り口10：14→散策→信濃寺自然歩
道入り口11：00

参加者：M・T 単独

報 告：



「小浅間山迄登山出来ます」の看板を確認して出発。東大火山観測所脇から見える小浅間山。歩き出してすぐに気になる実を見つける。帰宅後調べるとチョウセンゴミシ（朝鮮五味子）と分かる。赤い実を干して乾燥し薬用にするらしい。



歩き初めは
穏やかな樹林の中
の道。



私の足で40分程進むと、初めての標識が有った。右小浅間山と指している。地図で確認すると、ここは馬返しと呼ばれる所で、左方向に行くと東前掛山経由浅間山に行けるらしい。黒破線の道が地図に有る。勿論、現在は噴火レベル2で登山禁止。



振り返ると微かに浅間山が雲中に見える

西ピークが目の前で呼んでいる。
この付近から火山灰大地を歩くようになる。



写真の左部分平地が小浅間山山頂



西峰との分岐通過。小浅間山に先に行って又、ここに戻ってから西峰を目指すことにする。
小浅間山山頂はだだっ広くまるでミニミニ地平線。

二つ目の標識にはマジックで小さく←WESTピークと書かれている。





ススキを掻き分けやっと見つけた三角点

何処を歩いてても山頂に行けそうなので、火山礫だけでは無い好きな道を選んで登る。

下から眺めた山頂とは違う雰囲気のパーク。今日初めてYAMAPを見ると三角点近くにいる。山頂より少し西に逸れて歩いた様だ。確かに左方向に進んで来た。

三角点を探すが見つからない。どこを見てもススキが茂り同じ景色。

三角点を探しだす前に、綺麗なサルオガセ発見



三角点確認後小浅間山方向に向かう。

踏み跡は無いが歩きやすい樹木の間を適当に抜けて東峰方向に進む。

小浅間山山頂

山頂標識の直ぐ近くに石柱



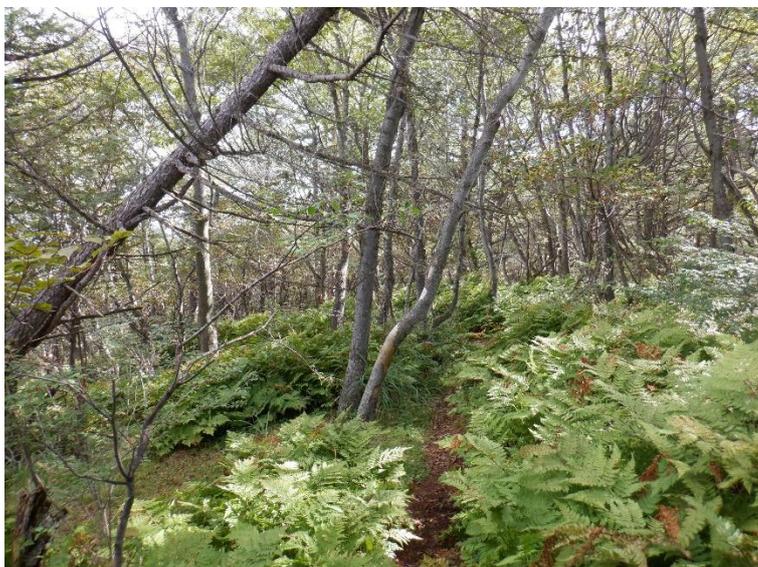
小浅間山からの浅間山は雲の中右下の茶色い場所が西峰



WEST ピークとの分岐に一度戻り西峰に登り返す。西峰ピークからの浅間山



今日は時間が有るので、西峰ピークから直接三角点に再度行く事にする。三角点まではこんな道だが、踏み



跡は、しっかりしていた。



飛び出した三角点広場だが、さっき探した三角点が直ぐには見つからなかった。又、ススキを掻き分けて三角点探し。見つけてすっきりして再度同じ道を西峰に戻る。

三角点から西峰には、入り口が判り難いので木に下がっているピンクテープが目印。私は別の場所から飛び出してきましたが。



今日2回目の西峰ピーク。アップにすれば標識のウサギさんが写った筈。
西峰ピークから下山開始。
東峰ピークを左手に見ながら滑りやすい道を峰の茶屋に一気に下山した。

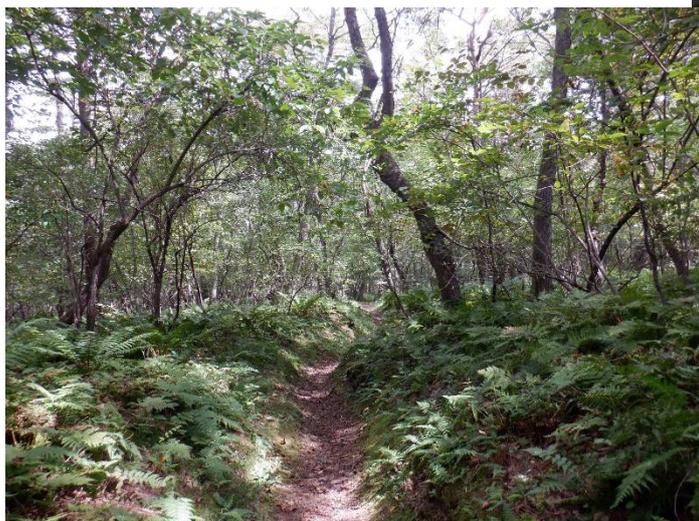
下山後時間が有ったので、信濃路自然歩道を散策。



此方には中部北陸自然歩道と有る。



信濃路自然歩道は峰の茶屋と碓氷峠を結び16キロのハイキングコース。
樹林の中を歩ける殆ど平坦なルート。



この林の中には沢山のチョウセンゴミシが実を付けていた。
今回は1時間だけピストンしたが、次回は小瀬温泉あるいは碓氷峠迄歩いてみたいと思う。